

2001年6月23日ペルー南部地震津波の規模

Magnitude Scale of the Southern Peru Earthquake Tsunami of June 23, 2001

羽鳥 徳太郎[1]

Tokutaro Hatori[1]

[1] なし

[1] None

2001年6月23日20時33分(GMT)に、ペルー南部のオコニア付近で巨大地震が発生した。USGSによれば、震央は 16.2°S , 73.6°W , 深さ33km、 $M_s 8.2$, ($M_w 8.4$)。逆断層の地震であった。津波を伴い、カマナで遡上高約5m、カヤオで全振幅70cm、チリのアリカでは250cmが観測された。日本では地震から21.5時間以降に観測され、全振幅20~58cm、北海道・東北日本が大きい。

津波の逆伝播図によれば、波源域は余震域と重なり、ペルー沿岸に沿い長さ310km、幅120kmと推定される。距離-津波高の関係図から、筆者の方法で津波マグニチュードをもとめると、 $m = 3$ と判定され、地震のマグニチュードと比べ標準的な規模である。

波源が南西に向き、日本ではチリ津波のような強い指向性の効果は受けなかった。今回の津波は大地震の空白域に発生しており、今後チリ北部の地震活動に注目していきたい。